

情 報 公 開 文 書

研究の名称	通院治療センターにおける多職種アセスメントに関する両方向性観察研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学附属病院 第三内科 講師／通院治療センター センター長 安藤孝将
①試料・情報の利用目的 及び利用方法(他の機関 へ提供される場合はそ の方法を含む。)	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 通院治療センターでは、治療開始時又は利用開始時に、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、医師等が多職種で患者さんの状態、栄養状態、服薬状況、追加検査や支援の必要性を確認し、主治医に共有しています。本研究では、この多職種アセスメントの実施状況、結果、その後に行われた検査や支援、治療経過との関連を検討します。これにより、通院薬物療法をより安全かつ円滑に継続するための支援体制の改善に役立つ情報が得られると考えられます。 【研究期間】 2025 年 4 月 1 日から 2032 年 3 月 31 日 【研究対象者】 富山大学附属病院通院治療センターを利用し、悪性腫瘍に対する薬物療法を開始又は継続する 20 歳以上の方。 【研究資金、利益相反の状況】 該当なし 【個人情報の取扱い】 上記情報を研究用 ID に置き換え、個人を直接特定できない形で解析します。本研究では試料は用いません。また、他の研究機関への試料又は個人を識別可能な情報の提供は行いません。研究で得られた情報は、将来の関連研究のために二次利用される可能性があります。その場合には、必要に応じて倫理審査委員会の承認及び研究機関の長の許可を得て、適切な手続きを行います。 【研究結果の公表の方法】 研究結果は、関連学会又は学術論文等で公表する予定です。公表に際しては、個人が特定される情報は含めません。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無 【外国にある者への提供について】 該当なし
②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 年齢、性別、身長、体重、Performance Status、原発部位、病理組織型、病期、転移部位、併存症、既往歴、前治療歴などの患者背景及び疾患情報。

	看護師による共有事項及び G8 スコア、管理栄養士による MUST/GLIM 評価及び InBody 評価、薬剤師による薬剤師外来の必要性評価、HBV-DNA 定量 PCR・心エコー・Khorana score に基づく D-dimer 測定又は下肢静脈エコー等の追加検査の必要性評価などの多職種アセスメント情報。 アセスメントに応じて行われた薬剤師外来、継続的な栄養評価、医療福祉サポートセンター、がん相談支援センター等との連携状況、追加検査の有無及び内容。 抗悪性腫瘍薬の投与開始日、投与量、投与スケジュール、延期・減量情報、有害事象、治療中止理由、奏効、増悪確認日又は無増悪確認日、後治療、最終生存確認日、死亡日等の治療情報及び転帰情報。 各診療科を対象に行った、本アセスメントの利用状況や運用上の課題に関するアンケート情報。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 2025 年 4 月 1 日
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山大学附属病院 山本 善裕
⑤提供する試料・情報の取得の方法	電子カルテ及び通院治療センターで通常診療として作成された記録から必要な情報を抽出します。
⑥利用する者の範囲	富山大学附属病院 第三内科／総合がんセンター 安藤孝将
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	電話：076-434-7301 E-mail：takayuki@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学附属病院 第三内科／通院治療センター 安藤孝将